

NPO 法人住まいのホームドクター／設計者の会
460-0017 名古屋市中区松原 1-17-6 朝日軒ビル 3階

HD ニュース

No.43
2016.12.15

今後の予定／於：事務所会議室

1月5日(木)18:30～ 三役会

1月17日(火)18:00～ マンション・ビル大規模修繕研究会

1月17日(火)19:00～ 研修会

NPO 法人住まいのホームドクター／設計者の会の事務所
は2017年1月1日より移転します。新住所：左記参照

電話：052-682-4162 FAX：052-684-4164

通常総会が終わり、旺盛な活動の年へ

理事長 滝井幹夫

「第三者」昨今よく耳にするコトバです。年末恒例の「流行語〇〇」などとは異質ですが・・・。第三者機関による検査（建築の特記仕様書に使われています）、第三者による現地検分（争いごとにつきものです）、第三者によるインスペクション（当会もインスペクションについて、渋谷副理事用提案の下、検討を始めました）。「第三者」の使われ方は様々です。しかし良く考えてみると、キワドイ言葉だと思いませんか？

一般的には、「第三者」＝「中立公正」の良いイメージのみが先行しているように思います。良いイメージを利用（悪用）して、国の対策機関として使われているのを筆頭に、建築生産流通の場面でも多く利用されています。

そもそも「第三者」だからといって中立公正とは限らず、人が行うことですから、当然対価を得る側に顔を向けるのは避けられませんし、判断はそちら側に有利な方向に向きます。こんな「当たり前」の事実があるにもかかわらず、中立公正に期待をしてしまう、期待せざるを得ない、大変気味が悪い状況なのではないでしょうか（今に始まったことではないか？）。

やはり「第三者」を名乗るには、長年に渡りどのようなスタンスを取り続けていたのか、が問われます。その信頼性で評価されるのではないのでしょうか。「第三者」「第三者性」は早急に形成されることでは

ありません。どこから対価を得ているのかが見えることも重要ですし、常に問われているということだと思います。「インスペクション」が持っているイメージについても十分配慮する必要があると思います。「第三者性を当然備えている、備えているはずだ、備えているに違いない」勝手なイメージが先行しているように思えてなりません。

ある団体が、中古住宅の流通の場面で「インスペクション」に関わろうとしています。しかし、小屋裏に上がらない、床下に潜らない等、業務そのものの信頼性・責任について疑問が残ります。業務をどこまで「やる」のか、どこまで「責任」を取るのか、誰から対価を得ているのか、中途半端な業務・責任内容では、「インスペクション」を名乗れないと思います。

当会には、相談委員会の電話相談の実績があり、会員による住宅調査の経験と、マンションの調査・診断・工事監理など、経験豊富な皆様の参加により、「インスペクション」の活用業務が見えてくるのではないのでしょうか。更に加えて、当会には設立当初からの理念と実績がありますから、この点もアピールしたいところです。他の諸団体と同じ体質とみなされては困りますから、この点をきちっと謳い、主張していく必要があると思います。

事務局を通じて、この点をきちっとアピールしていきましょう。

熊本での1か月滞在を終えて（その3）

研修委員長 津島勝弥

10月8日に通常総会に参加しました。実に久しぶりの出席で、今回が第12回目の総会ということを知ると、「え、前回いつ出た？ひょっとして

〇年ぶり？どんな顔をして出たら良いのか」と、いささか緊張気味に事務所を出ることになりました。

本紙バックナンバーは当会のホームページ<http://www.sumaidoctor.or.jp>からご覧いただけます

総会への参加者は私以外理事の方々ばかりで議事の進行をただただ聞くだけだったのですが、ところどころに挟まれる脱線気味のお話がとても面白く、そのことだけでも出席して良かったと思えるものでした。

私自著名建築家の元で修行したわけではなく、ずっと個人事務所として活動してきた身ですので名古屋を代表する設計事務所の先生方のお話は雑談であっても貴重な体験だ、ということに改めて気づかされたのです。

先輩方の前で身構え過ぎていたのかもしれませんが最近の業務で驚いたこと、感じたことなどを実に素直に語り合う場面に眺めていると驚きと同時に、業界内の情報交換は、年齢や事務所の大小に関わらず、やはり顔を合わせてするものだなと当たり前のことを改めて感じた次第です。

住まいのホームドクターの会員として、一般の方

の家づくりへの支援に対しては、今後も出来るだけ参加していくつもりですが、先輩建築士の方々との交流や情報交換も参加する動機の一つとさせて頂こうかな、と勝手ながら考えています。

当NPO法人が発足から12年ですが、更に12年後という私も60代半ば。その頃には私も若い建築士の方々に何かを伝えることの出来る建築士になっていなければいけませんね。

そうなるためにも、ホームドクターの諸先輩方に設計の勘どころや秘密のテクニック、奥義(!?)を全部さらけ出して頂こうかと考えていますがいかがでしょうか・・・(笑)。

カイフビルを離れ、新しい場所での再出発となる住まいのホームドクターです。若手、古参に関わらず、また事務所の大小に関わらず、建築についての良質な議論の場となることを期待しましたそこでの議論を楽しみに、今後も積極的に参加するつもりです。



■熊本城視察旅行 2017/1/21・22

以前よりご案内していました「熊本城視察旅行」に当NPO法人から5名と、熊本市職員の案内で入場禁止エリアまで入ることができるようお骨折りいただいた名古屋市議員の計6名で視察してまいります。名古屋城木造改築を意識していますが、馬刺し・熊本ラーメン・辛子レンコン・阿蘇温泉などを堪能し、復興支援してきます。

■マンション・ビル大規模修繕研究会

11/15 18:00~19:30

当研究会のPR用のHP、チラシ原稿について。読み合わせ用のテキスト選択。

■木造技術研究会 11/17 18:30~20:00

『住宅省エネルギー技術~』読み合わせ。

■役員会 12/1 18:30~20:00

会員動向の概要、収支状況、HDニュース、HP一般向け相談メニューの充実、事務所移転について。「インスペクター委員会(仮)」設立について。

■木造技術研究会 12/15 18:30~20:00

『住宅省エネルギー技術~』読み合わせ。

■相談委員会 12/20 18:00~19:00

■研修会 12/20 19:00~20:00 (終了後、忘年会)

『給配水管のライニング工事』講師/中神大介氏(株P・C・Gテクニカ)

「サンパーク津島」マンションにて当研究会有志が給排水管更正工事のコンサルタント・工事監理業務を行い、工事を担当したP・C・Gテクニカが講座